

令和元年度第 11 回教育研究評議会議事要録

日 時	令和 2 年 2 月 12 日（水）13 時 00 分 ～ 15 時 12 分
場 所	第一会議室
出席者	石田学長，藤井理事，池田理事，夏秋理事，佐藤理事 塚本地域デザイン科学部長，藤原評議員，増田評議員 佐々木国際学部長，磯谷評議員，中村評議員 小宮教育学部長，伊東評議員，人見評議員 入江評議員，横田評議員 齋藤農学部長，山根評議員，吉澤評議員 川田地域創生科学研究科長，橋本基盤教育センター長
陪 席	溝口監事，堀監事，松金学長特別補佐

議事に先立ち，令和元年度第 10 回教育研究評議会議事要録（案）を確認し，原案のとおり承認した。

[議 題]

1. 宇都宮大学名誉教授称号授与について

資料 1

学長から，資料 1 に基づき，宇都宮大学名誉教授称号授与について説明があり，審議の結果，8 名の名誉教授候補者に対し，名誉教授の称号の授与を承認した。

2. 教員人事について

資料 2

(1) 学長から，資料 2-1 に基づき，大学院（教育学部）准教授の採用に関する人事調整会議における選考経過について説明があった。

次に教育学部長から，資料 2-1 に基づき，教授会における業績審査について説明があり，審議の結果，令和 2 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日の任期で採用することを承認した。

(2) 学長から，資料 2-2 に基づき，大学院（工学部）助教の採用に関する人事調整会議における選考経過について説明があった。

次に横田評議員から，資料 2-2 に基づき，人事教授会における業績審査について説明があり，審議の結果，令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日の任期で採用することを承認した。

(3) 学長から，資料 2-3 に基づき，大学院（工学部）助教の採用に関する人事調整会議における選考経過について説明があった。

次に横田評議員から，資料 2-3 に基づき，人事教授会における業績審査について説明があり，審議の結果，令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日の任期で採用することを承認した。

(4) 学長及び夏秋理事から，資料 2-4 に基づき，大学院（雑草と里山の科学教育研究センター）教授の採用に関する人事調整会議における選考経過について説明があり，審議の結果，令和 2 年 4 月 1 日から採用することを承認した。

(5) 学長及び夏秋理事から，資料 2-5 に基づき，大学院（オプティクス教育研究センター）助教の採用に関する人事調整会議における選考経過について説明があり，審議の結果，令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日の任期で採用することを承認した。

(6) 学長から、資料 2-6 に基づき、教育学部特任教授の採用に関する人事調整会議における選考経過について説明があった。

次に教育学部長から、資料 2-6 に基づき、教授会における業績審査について説明があり、審議の結果、令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日の任期で採用することを承認した。

(7) 学長及び夏秋理事から、資料 2-7 に基づき、バイオサイエンス教育研究センター特任准教授の採用に関する人事調整会議における選考経過について説明があり、審議の結果、令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日の任期で採用することを承認した。

(8) 学長及び夏秋理事から、資料 2-8 に基づき、オプティクス教育研究センター特任教授の採用に関する人事調整会議における選考経過について説明があり、審議の結果、令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日の任期で採用することを承認した。

3. ガバナンス体制の見直しについて (案)

資料 3

佐藤理事から、資料 3 に基づき、ガバナンス体制の見直し (案) について説明があり、審議の結果、2 名の各学部評議員体制から、評議員 1 名副学部長 1 名体制にすることにより、評議員の役割や業務分担の明確化、評議会及びそのコストのスリム化、及び学部のガバナンスの強化が図られることから、原案のとおり承認した。

なお、各学部から選出される評議員が 2 名から 1 名になることについて、評議会において多種多様な意見を聴き、大学運営に活かすことは学長の責務である旨意見があった。また、多種多様な意見を聴くことができない環境となってしまうため、評議員は 2 名のままとした方がいいのではないかといい意見や、2 名のうち 1 名が副学部長を兼務してはどうかとの意見があった。

4. 国立大学法人ガバナンス・コードについて

資料 4

佐藤理事から、資料 4 に基づき、国立大学ガバナンス・コードについて説明があり、審議の結果、今後のスケジュールについては、3 月の各種会議において報告・審議することとしたうえで原案のとおり承認した。

また、学部等に対してガバナンス・コード策定の経緯を含め、これに関する情報伝達や説明等を丁寧に行う必要がある旨意見があり、対応について検討することとした。

5. 宇都宮大学学則の一部改正について

資料 5

池田理事から、資料 5 に基づき、宇都宮大学学則の一部改正について説明があり、審議の結果、学位記の付番については、群馬大学と調整することとしたうえで原案のとおり承認した。

6. 各学部等履修規程及び各研究科細則の一部改正について

資料 6

池田理事から、資料 6 に基づき、各学部等履修規程及び各研究科細則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

なお、授業科目名の決定方法及び履修登録が変更可能となる期間の取扱について、教務委員会において次年度以降検討することとした。

[報告事項]

1. 令和 2 年度「全学 FD の日」について

池田理事から、令和 2 年度「全学 FD の日」を令和 2 年 9 月 25 日 (金) に開催する予定である旨報告があった。

2. 第 2 回 udai 教育セミナーの開催について

資料 7

池田理事から、資料 7 に基づき、第 2 回 udai 教育セミナーの開催について報告があった。

なお、本セミナーは、アクティブラーニングの研修制度のひとつであるため、各学部等に対し、受講に関して協力依頼があった。

3. 令和2年度授業時間について 資料8
池田理事から、資料8に基づき、令和2年度授業時間について報告があった。
4. 令和2年度附属図書館陽東分館改修に伴う仮設運営について 資料9
池田理事から、資料9に基づき、令和2年度附属図書館陽東分館改修に伴う仮設運営について報告があった。
5. 令和2年度諸会議（定例）開催予定表について 資料10
学長から、資料10に基づき、令和2年度諸会議（定例）開催予定表について報告があった。
6. 令和2年度宇都宮大学予算予定額の概要について 資料11
学長及び財務部長から、資料11に基づき、令和2年度宇都宮大学予算予定額の概要について報告があった。
5. その他
- 学長から、大学院主任指導資格を得た助教に対する大学院生の配属について説明があり、各学部長及び各研究科長に対し、実態に沿って適切に対応いただきたい旨依頼があり、地域創生科学研究科長から、現状を把握したうえで対応する予定である旨説明があった。
- 地域創生科学研究科長から、令和2年2月20日に地域創生科学研究科におけるFD活動を実施予定である旨報告があった。
- また、令和2年4月入学地域創生科学研究科修士課程第2次学生募集における出願状況について報告があった。

以上